

平成 21 年度日本水産工学会学術講演会並びに
平成 21 年度日本水産工学会春季シンポジウムの開催について (案内)

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 21 年度日本水産工学会学術講演会、平成 21 年度日本水産工学会春季シンポジウムについて、下記の通り開催致しますので、御案内申し上げます。

記

会 場

一般講演・総会	日本大学生物資源科学部湘南キャンパス 10 号館 1 階 〒252-8510 藤沢市亀井野 1866 (TEL 0466-84-3688)
懇親会	本館地下 カフェテリア
シンポジウム	本館 3 階 中講堂 1

日 程

5 月 23 日 (土)

10 : 00 ~ 11 : 00	企画委員会 (10 号館 2 階 演習室 No.5,6)
11 : 00 ~ 12 : 30	理事会・評議員会 (10 号館 2 階 1021 講義室)
13 : 00 ~ 14 : 00	総会・学会賞授賞式 (第 1 会場 : 10 号館 1 階 1012 講義室)
14 : 00 ~ 14 : 30	学会賞受賞者講演 (第 1 会場)
14 : 45 ~ 17 : 45	一般講演 (第 1 および第 2 会場)
18 : 30 ~ 20 : 15	懇親会 (本館地下 カフェテリア)

5 月 24 日 (日)

09 : 00 ~ 12 : 00	一般講演 (第 2 会場は 12 : 15 まで)
13 : 00 ~ 16 : 45	一般講演 (第 2 会場は 16 : 30 まで)

5 月 25 日 (月)

10 : 00 ~ 16 : 50	春季シンポジウム (本館 3 階 中講堂 1) 「東京湾・相模湾および駿河湾海域における沿岸漁業振興への期待と可能性」
-------------------	--

1. 学術講演会(別添プログラム参照)

- 講演者：登壇者は日本水産工学会員とする。但し、共著者の中に会員が含まれていれば会員以外でも登壇可とする。
- 講演方法：講演は 1 件当り 15 分(質疑応答時間を含む)。OHP または PC プロジェクターを使用した講演とする。
- 参加費等
 - (1) 講演会：参加費(含む論文集)は当日会場受付にてお支払い下さい。
会員 4,000 円(学生会員 1,000 円)、非会員 10,000 円
論文集のみ購入 会員 3,000 円、非会員 5,000 円

(2) 懇親会：会費は当日会場受付にて参加人一緒にお支払い下さい。

日 時：平成 21 年 5 月 23 日(土)

会 費：会員 5,000 円，学生会員 2,000 円，非会員 10,000 円(予定)

(3) 学生優秀賞：学生（学部生および大学院生：高等専門学校，高等学校を含む）による一般講演の中から審査により，優秀な発表を学生優秀賞として表彰いたします。

2. 春季シンポジウム(別添プログラム参照)

- 参加費：1000 円（学術講演会参加者並びに学生は無料）
- 申込方法：当日，直接会場にお越し下さい。
- 本シンポジウムは，(社) 日本技術士会が認定する CPD 行事となっております。

3. 問合せ先

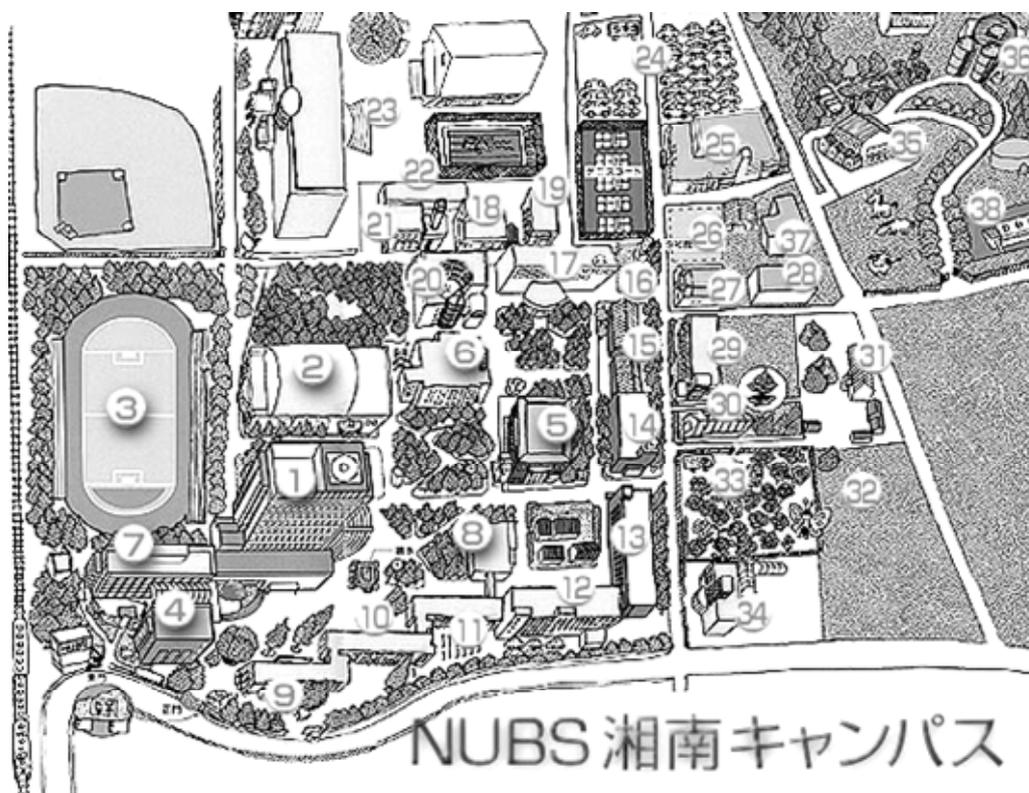
日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科 小島隆人

〒252-8510 藤沢市亀井野 1866

TEL：0466-84-3688 fax 0466-84-3687

[日本大学生物資源科学部湘南キャンパス]

藤沢駅方面



小田急「六会日大前」駅

第 1 会場 (漁場造成・漁港建設・水域環境・漁村計画)

5 月 23 日 (土) 午後

座長 伊藤 靖 (漁港漁場漁村技術研究所)

- 14:45 101 魚類の食害防止ネットを用いた核藻場造成実証実験について (その 4)
.....○鈴木裕明, 川畑三彦 (住友大阪セメント), 内田佳孝, 近藤啓一, 坪田晃誠 (九州電力), 松尾照久 (水産土木建設技術セ), 山仲洋紀 (彦岐市アワビ種苗セ)
- 15:00 102 海藻着生プレートと食害防止ネットを用いた対馬市豆蔵海域における核藻場造成について (その 2)
.....鈴木裕明, ○川畑三彦, 園部幸治 (住友大阪セメント), 小島 一, 犬束敬史 (対馬栽培漁業公社)
- 15:15 103 噴流式耕耘によるアサリ漁場の底質改善効果
.....○中山威尉, 福田裕毅 (道中央水試), 秦安史 (道原子力環境セ), 阿部英治 (釧路水試), 櫻井泉 (道中央水試)
- 15:30 104 磯焼け対策に用いるウニ吸引装置の開発
.....○桑原久実 (水研セ水工研), 綿貫 啓 (アルファ水工), 小沢誠二 (不動テトラ), 石岡 昇 (水産土木建設技術セ), 藤田大介 (海洋大)

座長 藤田伸二 (長大水)

- 15:45 105 佐田岬半島の湧昇域における藻場分布調査
.....桑原久実 (水研セ水工研), 安藤 亘 (水産土木建設技術セ), ○綿貫 啓 (アルファ水工), 新井章吾 (海中景観研), 梅津啓史 (水産庁)
- 16:00 106 JODC の水温データを用いた沿岸湧昇域の探索と既往知見
.....○富沢伸樹, 綿貫 啓 (アルファ水工), 桑原久実 (水研セ水工研), 梅津啓史 (水産庁)
- 16:15 107 アサリ稚貝の定着促進に関する評価手引きの概要
.....○桑原久実 (水研セ水工研), 田中良男 (東京久栄)
- 16:30 108 回流水槽を用いたアサリ疑似稚貝を安定させる敷設材の評価について
.....○田中良男 (東京久栄), 桑原久実 (水研セ水工研)

座長 桑原久実 (水研セ水工研)

- 16:45 109 鉄分供給ユニットによる藻場造成技術の検討
.....加藤敏朗, ○木曾英滋, 中川雅夫 (新日鐵), 渋谷正信 (渋谷潜水工業), 山際 優 (志摩の国漁協), 植木知佳 (北大)
- 17:00 110 転炉系製鋼スラグを活用した海域底質改善の基礎的検討
.....三木 理, ○加藤敏朗, 堤 直人, 中川雅夫 (新日鐵)
- 17:15 111 貝殻を利用した魚礁部材の改良とその効果
.....○片山 貴之, 加村 聡 (海洋建設), 柿元皓 (漁港漁場漁村技研)
- 17:30 112 生物の生息環境に配慮した環境調和型被覆ブロックの開発について
.....○近藤信一郎 (三省水工), 河野晴行, 萩野静也 (ジーエスエンジニアリング), 田辺弘輝 (広島港湾 振興局)

5 月 24 日 (日) 午前

座長 宮本佳則 (海洋大)

- 09:00 113 人工魚礁における増殖機能の費用便益分析手法の開発
.....伊藤 靖, ○松本卓也, 中野喜央 (漁港漁場漁村技研), 麓貴光 (水土舎)
- 09:15 114 標識放流による人工魚礁を起点としたマアジの滞留状況
.....○伊藤 靖, 三浦浩 (漁港漁場漁村技研), 吉田司, 中村憲司 (シャトー海洋調査)

- 09:30 115 佐渡海域におけるバイオテレメトリー・計量 魚探を用いた人工魚礁に蝟集するマアジの行動解析
 ・・・・○伊藤 靖, 三浦浩 (漁港漁場漁村技研), 吉田司, 中村憲司 (シャトー海洋調査)
- 09:45 116 熊野灘における浮魚礁を用いた漁場造成
 ・・・・○瀬戸口喜祥, 吉村直孝 (総合科学), 山中健司 (岡部株)
- 10:00 117 長崎市沖人工海山の魚礁形成過程における環境変化及び集魚効果の検討
 ・・・・加藤裕之, 兼原壽生, 青島 隆, 木下 宰, 内田 淳, 清水健一 (長大水), 行平真也 (大分県農林水産部), ○高山久明 (長大水)

座長 足立久美子 (水研セ水工研)

- 10:15 118 漁港施設の耐震設計におけるサイト特性の影響に関する研究
 ・・・・三上信雄, 佐伯公康 (水研セ水工研), ○西本敦範, 藤井照久, 大槇正紀 (復建調査設計)
- 10:30 119 防波堤背後小段の藻場環境について
 ・・・・佐藤仁, ○熊谷直哉, 福田光男 (寒地土木研), 吉田徹, 黄金崎清人 (日本データサービス)
- 10:45 120 GPS位置表示付きROVによる相模湾の藻場分布把握
 ・・・・○木下淳司 (神奈川県水技セ)
- 11:00 121 千葉県富津市津浜海岸のアマモ場の消長について
 ・・・・○中瀬浩太, 伊豫田紀子 (五洋建設)

座長 中瀬浩太 (五洋建設)

- 11:15 122 韓国南海岸における *Cochlodinium polykrikoides* 赤潮発生と海域環境
 ・・・・○李 文沃, 崔 在勳 (全南大学校)
- 11:30 123 なぜ中焼けは起こるのかー佐渡真野湾における事例ー
 ・・・・○川俣 茂 (水研セ水工研), 佐藤智則 (新潟水産海洋研)
- 11:45 124 鹿島灘沿岸域における水質の季節変動特性
 ・・・・○足立久美子, 中山哲巖 (水研セ水工研)

5月24日 (日) 午後

座長 櫻井 泉 (道中央水試)

- 13:00 125 新潟県下越陸棚域における海底泥の物理的性質と硬度との関係
 ・・・・梶原直人, 井関智明, 高田宜武, 藤井徹生 (水研セ日水研)
- 13:15 126 内湾の汽水性養殖場の塩分流入過程に関する研究
 ・・・・○白 相鎬 (国立水産科学院), 大竹臣哉 (福井県大), Lee Moon-Ock (全南大学校), Kim Chang-Gil, Jun Je-Cheon, Cho Kee-Chae (国立水産科学院)
- 13:30 127 定置網付近の海底部に設置した簡易観測装置を用いた成層状態の消長の推定
 ・・・・○藤田伸二 (長大水), 曾根謙一 (愛媛県水試), 玉井大策 (高知県)
- 13:45 128 魚礁後流域の渦拡散係数の推定法に関する研究
 ・・・・○大竹臣哉, 木村洋 (福井県大)

座長 東海 正 (海洋大)

- 14:00 129 瀬戸内海の超長期的モニタリングとしての魚市場ネットワークについて
 ・・・・○市村康, 今井美穂, 土屋正隆, 梅津健一 (日本ミクニヤ), 上嶋英機 (広島工大)
- 14:15 130 漁業地域の多面的機能の評価に関する研究
 ・・・・○本松敬一郎, 黒澤 馨 (水産庁), 古屋温美 (北大水院), 長野 章 (はこだて未来大), 中泉昌光 (水産庁)
- 14:30 131 漁業地域の行政と多面的機能における市町村合併の影響に関する分析
 ・・・・○黒澤 馨 (水産庁), 本松敬一郎 (北大水院), 浅川 典敬 (漁港漁村漁場技研), 森 健二 (佐伯市), 中西 豪 (水産庁), 長野 章 (はこだて未来大)

- 14:45 132 銚子漁港における災害に強い漁業地域づくりに関する研究
.....○本多隆範（日本ミクニヤ）、三上信雄、佐伯公康（水研セ水工研）、浅川典敬、大塚浩二、保坂三美（漁港漁場漁村技研）

座長 塩出大輔（海洋大）

- 15:00 133 外房地方沿岸の漁業地域の人口地理学的分析
.....○渡辺一俊、高橋秀行、佐伯公康、長谷川誠三（水研セ水工研）
- 15:15 134 水産物の実体験と映像による食育効果について
.....○奥野正洋（アルファ水工）、長野徹志（TSビジュアルサーチ）、古屋温美（北大水院）、笹木雅之、山本尚希、長野章（はこだて未来大）
- 15:30 135 水産業・漁村の多面的機能発現に向けた漁港施設の活用方策について
.....○三上信雄、佐伯公康（水研セ水工研）、麓貴光（水土舎）

座長 大竹臣哉（福井県大）

- 15:45 136 沿岸漁業生産活動のCO2排出と漁港の整備方式の評価
..本松敬一郎（北大水院）、○山崎将志（水産庁）、黒澤馨（水産庁）、浅川典敬（漁港漁場漁村技研）、古屋温美（北大水院）、長野章（はこだて未来大）
- 16:00 137 海岸漂着ゴミ等の処理によるCO2発生増大への影響に関する研究
..○黒澤馨（水産庁）、浅川典敬（漁港漁場漁村技研）、横山純（水産庁）、古屋温美（北大水院）、長野章（はこだて未来大）、中泉昌光（水産庁）
- 16:15 138 漁業地域における森林・海洋のCO2固定量評価に関する研究
.....○本松敬一郎、古屋温美（北大水院）、長野章（はこだて未来大）、米田義昭（道工技セ）、浅川典敬（漁港漁場漁村技研）、黒澤馨、中泉昌光（水産庁）
- 16:30 139 諫早湾のアサリ漁場における酸素対策技術の開発
.....藤田孝康、○徳岡誠人、向後恵一（日本ミクニヤ）

第2会場 (水産増養殖・漁具漁法・漁船・海洋測器)

5月23日(土) 午後

座長 三上信雄 (水研セ水工研)

- 14:45 201 ホタテガイ貝殻を用いたアサリ増殖場造成技術開発試験
.....○櫻井 泉, 福田裕毅 (道中央水試), 前川公彦 (サロマ湖養殖組合), 山田俊郎 (㈱西村組), 齊藤 肇, 桑原久実 (水研セ水工研)
- 15:00 202 根室海峡のホタテガイの成長様式と成育環境の検討
.....○伊藤 博 (水研セ北水研)
- 15:15 203 螺旋捕捉理論に基づいた二枚貝稚貝出現予測手法の開発
.....○瀬戸雅文 (福井県大), 北川裕人 (スギヨ), 井爪章登 (モビテック), 巻口範人, 小形 孝 (道栽培漁業公社)
- 15:30 204 操業時における桁網の挙動
.....○石川 敦士 (長大院生産科学), 山口 恭弘 (長大水)

座長 川俣 茂 (水研セ水工研)

- 15:45 205 沿岸構造物背後静穏域におけるガゴメコンブの生長状況
.....○渡辺光弘, 山本 潤 (寒地土木研), 増田 亨 (北海道開発局)
- 16:00 206 新型スポアバッグ法による藻場の着生効果について (第2報)
.....○石田和敬 (国際航業), 安藤 亘 (水産土木建設技術セ), 木村智也 (水産庁), 田所 悟 (自然環境調査), 南里海児 (㈱ベントス)
- 16:15 207 瀬戸内海・広島湾のガラモ場の植生と環境特性
.....○吉田吾郎, 堀 正和, 山田勝雅, 浜口昌巳 (水研セ瀬戸内水研), 梶田 淳, 三浦俊一 (水圏リサーチ㈱), 寺脇利信 (富山水研)
- 16:30 208 漁業者による磯焼け対策の取り組みについて (その2)
...安藤 亘 (水産土木建設技術セ), 戸高留治 (大分県漁協), 渡辺耕平 (西日本オーシャンリサーチ), 渡邊浩二 (水産土木建設技術セ), 中嶋 泰 (オフィスMOBA)

座長 本多直人 (水研セ日水研)

- 16:45 209 MOHT ネットにおけるカタクチイワシ網口回避に及ぼす曳網船速と網口サイズの影響
.....○鈴木元道, 早乙女浩一郎, 胡 夫祥, 塩出大輔 (海洋大), 大関芳沖, 久保田 洋 (水研セ中央水研), 東海 正 (海洋大)
- 17:00 210 柔構造拵網装置 (カイト) を用いたトロール網の開発
.....○熊沢泰生 (ニチモウ), 胡 夫祥 (海洋大), 木下弘実 (ニチモウ), 東海 正 (海洋大)
- 17:15 211 トロール漁具の作業性の比較
.....○不破 茂, 工藤 嵩 (鹿大水), 熊沢泰生, 平山 完, 木下弘実 (ニチモウ)
- 17:30 212 小型底曳網におけるミズクラゲの混獲防除技術の開発
.....○梶川和武 (水大校), 松下吉樹, 鈴木秀規 (長崎大学)

5月24日(日) 午前

座長 木下淳司 (神奈川県水技セ)

- 09:00 213 水槽栽培における堆積物組成とアマモ草体の引き抜き強度との関係
..○梶田 淳 (水圏リサーチ), 吉田吾郎 (水研セ瀬戸内水研), 新村陽子 (海洋プランニング), 寺脇利信 (富山水研), 大本茂之 (エイトコンサルタント)
- 09:15 214 屋外水槽における海草アマモの10年間の栽培経過と葉部流失量の実測
.....○寺脇利信 (富山水研), 新村陽子 (海洋プランニング), 梶田 淳 (水圏リサーチ), 松村 航 (富山水研), 玉置 仁 (石巻専修大), 吉田吾郎 (水研セ瀬戸内水研)

- 09:30 215 ホタテ貝殻を利用したフクロフノリ藻場造成実験
 ・・・・○伊豫田紀子, 浜谷信介, 中瀬浩太 (五洋建設)
- 09:45 216 海藻の分布とウニ類の生息環境をすみ分ける藻礁の開発
 ・・・・○峰 寛明, 藤井淳夫 (エコニクス), 渡辺浩二, 安藤 亘 (水産土木建設技術セ)

座長 綿貫 啓 (アルファ水工コンサルタンツ)

- 10:00 217 建材ブロックを利用した種苗移植技術について
 ・・・・○中村憲司 (シャトー海洋), 安藤 亘, 渡邊浩二 (水産土木建設技術セ), 木村智也 (水産庁)
- 10:15 218 沖ノ鳥島へのサンゴの移植について
 ・・・・○渡邊浩二, 安藤 亘, 石岡 昇, 中村良太 (水産土木建設技術セ), 山本 秀一 (㈱エコー), 田村 真弓 (水産庁)
- 10:30 219 漁港施設におけるイセエビ稚エビの生息環境の創出
 ・・・・伊藤 靖, ○三浦浩 (漁港漁場漁村技研), 深瀬一之 (水土舎)
- 10:45 220 ビデオカメラを用いたマアナゴの体長測定を試み
 ・・・・○南場敬志, 中村哲郎, 内田圭一, 吉田空久, 宮本佳則, 柿原利治 (海洋大)

座長 山根 猛 (近大農)

- 11:00 221 音響カメラ DIDSON を用いたタチウオの行動および曳縄漁具の3次元観察手法
 ・・・・○本多直人 (水研セ日水研), 池脇義弘 (徳島水研)
- 11:15 222 上向き曳航カメラ観察と目視カテゴリー法を用いた大型クラゲ目視効率把握の試み
 ・・・・○本多直人 (水研セ日水研), 近藤 誠, 内田圭一 (海洋大)
- 11:30 223 まぐろ延縄漁具における加重枝縄の釣針沈降特性
 ・・・・○塩出大輔, 細谷雅之, 胡 夫祥, 東海 正 (海洋大)
- 11:45 224 底生魚を対象とした漁船によるバイオテレメトリーの試み
 ・・・・○金澤 誠, 宮本佳則, 宮城亜紀, 内田圭一, 柿原利治 (海洋大)
- 12:00 225 イイダコの矩形スリットへの侵入行動
 ・・・・角本清春, ○山口恭弘 (長大水)

5月24日(日)午後

座長 柿原利治 (海洋大)

- 13:00 226 喫水線上の船型の影響を考慮した向い波中抵抗増加の簡易推定法-第3報: 数式船型に対する長波長入射波近似の計算-
 ・・・・○升也 利一 (水研セ水工研)
- 13:15 227 FRP 漁船の寿命と耐用年数の推定法
 ・・・・○明田定満 (水研セ水工研), 末永慶寛 (香川大工)
- 13:30 228 情報積算法による将来漁船船型の検討
 ・・・・○芳村康男, 稲葉道晃 (北大水院)
- 13:45 229 漁船における風力発電装置の導入
 ・・・・唐栄城, ○酒井久治 (海洋大)
- 14:00 230 ウォータージェット型水中ビークルの運動性能
 ・・・・○朴 俊成, 芳村 康男 (北大水院)

座長 芳村康男 (北大院水)

- 14:15 231 小型底曳き網漁船の燃料消費量について
 ・・・・○溝口弘泰 (水研セ水工研), 芳賀圭吾 (仙台地方振興事務所), 長谷川勝男 (水研セ水工研)
- 14:30 232 小型沿岸漁船の船底への生物付着が燃料消費量に及ぼす影響
 ・・・・○酒井久治 (海洋大)

14:45 233 漁船における機関損傷の現状とその防止対策-海難審判における裁決書の解析-
.....楊天石, ○酒井久治 (海洋大)

15:00 234 Network Performance of Web Direct-Access and Connection
.....○石井 憲, 高尾芳三 (水研セ水工研)

座長 酒井久治 (海洋大)

15:15 235 漁業者のライフジャケット着用推進について
.....○久宗周二 (高崎経済大)

15:30 236 愛媛県今治市の小型底曳網漁船における漁労作業の労働負荷解析
.....安田研也 (北大), ○高橋秀行 (水研セ水工研), 藤森康澄, 木村暢夫 (北大水院)

15:45 237 中層・底層定置網における海亀脱出支援システムの開発
.....○高橋六樹, 塩出大輔, 東海 正, 胡 夫祥 (海洋大), 阿部 寧, 小林真人 (水研セ西海水研)

16:00 238 千葉県鴨川市における大型定置網漁業の工程分析-1 工程分析図の作成
.....○佐伯公康, 高橋秀行, 渡辺一俊, 長谷川誠三 (水研セ水工研)

16:15 239 千葉県鴨川市における大型定置網漁業の工程分析-2 労働負荷分析
.....○高橋秀行, 佐伯公康, 渡辺一俊, 長谷川誠三 (水研セ水工研)

講演者の方へお願い

1. 講演会場にはPCを2台それぞれ舞台袖のコントロール台の上に用意します。次演者の方は各自で記憶媒体(CD, メモリースティック等)をお持ちになり、コントロール台にて講演準備をお願い致します。なおPCに用意しますのはWindows XPで作動するMicrosoft Power Point 2003としますので、これ以外のソフトウェア、もしくは上位バージョンでご用意されている場合はPDF、もしくはMicrosoft Power Point 2003での作動確認を必ずお願い申し上げます。また、OHPを用いた発表を予定されている方は、事前に小島([Email fe2009@brs.nihon-u.ac.jp](mailto:fe2009@brs.nihon-u.ac.jp) もしくは [TEL.0466-84-3688](tel:0466-84-3688))までご連絡いただけると幸いです。
2. 1題当たりの講演時間は、発表12分、質疑応答3分の計15分間(交代時間も含む)となりますので、円滑な講演進行のため時間厳守をお願い致します。
3. 発表開始の後、10分で予鈴を1回、定刻12分で2回鳴らして発表時間の終了をお知らせします。その後は1分超過毎に鈴を1回鳴らします。
4. 活発な質疑応答をお願い致しますが、発表時間に制約がありますので、さらなる質疑は各発表の合間、もしくは懇親会場等において個々に行って頂きますよう、お願い致します。

平成21年度日本水産工学会春季シンポジウム

東京湾・相模湾および駿河湾海域における沿岸漁業振興への期待と可能性

日 時：平成21年5月25日(月) 10:00～
場 所：日本大学生物資源科学部附属校舎 本館中講堂1
神奈川県藤沢市亀井野 1866
参加費：1000円(学術講演会参加者並びに大学生は無料)
申込方法：当日、直接会場にお越し下さい。

企画趣旨

進む消費者の肉食指向と魚離れ、低調な魚介類自給率あるいは海外における魚の買い負けなど、わが国水産業を取り巻く環境は依然厳しい。一方、低価格志向の高まりのみならず、国産とりわけ地場の安全な魚を食べたいという消費者ニーズの高まりも確かに見られ、わが国近海で獲れる魚の消費拡大が望まれている。地場の魚の消費は、海に排出された窒素やリンなどを陸域へ還元することにつながることから物質循環の一翼をも担うとされ、食の安全・安心が担保された地元の魚の供給、食糧自給率問題の改善、さらに輸送エネルギーコストといった面からも今後、近海で漁獲される新鮮な魚の販路および消費の更なる拡大が期待される。大消費地東京を背後に控えた立地条件に恵まれた東京湾、相模湾および駿河湾海域における沿岸漁業は、こうした要望こどのように応えることで、その業態発展へとつなげていくことができるのか。それぞれの立場から議論を行い、あるべき姿を問う。

プログラム

10:00～10:05	開会挨拶	日本水産工学会会長
	座長 酒井久治(海洋大)	
10:05～10:35	神奈川県における定置網漁業の課題と今後の方向	石戸谷 博範(神奈川水技セ)
10:35～11:05	駿河湾海域漁業の現状と将来展望	長谷川 雅俊(静岡水技研)
11:05～11:35	フードマイレージと高付加価値の観点から	馬場 治(海洋大)
11:35～11:45	質疑	
11:45～12:50	昼休み	
	座長 小島隆人(日大生物資源)	
12:50～13:10	東京湾沿岸漁業者の期待	大野 一敏(船橋魚協)
13:10～13:30	相模湾の定置網漁業の取り組み	山本 浩一(静岡定置協会)
13:30～13:50	定置網漁業における新たな産地の取り組み	泉澤 宏(網代漁業株)
13:50～14:10	質疑	
	座長 山本浩一(静岡定置協会)	
14:10～14:40	消費拡大に向けた取り組み	田中 達也(アイフィッシュ)
14:40～15:10	代理親養殖によるマグロ種苗生産の試み ーサバにマグロを産ませるー	竹内 裕(海洋大)
15:10～15:40	近郊型養殖事業の試みと可能性	秋山 信彦(東海大海洋)
15:40～16:10	フードシステムと近郊型沿岸漁業	川手 督也(日大生物資源)
16:10～16:45	総合討論	
16:45～16:50	閉会挨拶	日本水産工学会副会長

本シンポジウムはCPDプログラムとして認定しています。